



門田 裕一 議員

### カラーユニバーサルデザインの導入を

#### 問

カラーユニバーサルデザインの考え方を本市の窓口などの書類、掲示物、案内表示、広報物、広報紙、ホームページなどに取り入れるべきでは。

#### 答 総務部長

庁舎の案内図、エレベーターの操作パネルなどには、既に導入している。

ホームページは、現在進めているリニューアルに合わせて、見やすくわかりやすいものへ移行作業中である。

広報紙については、伊予市広報広聴指針に基づ

き、利用者の視点に立ち、文字の大きさや色の濃淡を含め、配色を工夫するなど、ユニバーサルデザインを意識した広報紙の作成に努めている。

窓口での各種申請用紙やパンフレットなどの印刷物については、いまだ度検証をする必要があると考えている。

中山地域事務所や総合福祉センター、さらに今後建設を計画する各施設についても、案内表示等を中心にカラーユニバーサルデザインを導入する。



窓口での各種申請書類

### ホームページに「こころの体温計」を

#### 問

携帯電話やパソコンを使い、気軽にメンタルヘルス（心の健康）を確認できる「こころの体温計」のサービス提供を。

#### 答 中村市長

本市の自殺による死者数、死亡率は年々増加傾向にある。

平成21年度より厚生労働省の地域自殺対策緊急強化事業の指定を受け、対面型相談支援事業、人材養成事業、普及啓発事業等の自殺対策に積極的に取り組んできた。

こころの体温計はパソコンや携帯電話で気軽に心の健康度チェックができ、早期に心の相談につながる事ができることから、心の健康保持増進に有用であると考え、前向きに検討する。

### 親亡き後の障がい者支援を

#### 問

①障がいがある子どもも介護をする家族の現状は。  
②障がいがある子どもへの親への支援、サービスは。  
③障がい者が地域で暮らせるよう医療や介護、相談事業を行う支援センターへの転換を。

#### 答 市民福祉部長

①障害児や障害者の日常生活を主に介護する方は、配偶者や両親であり、自身の健康不安や精神的負担、緊急時の対応など、さまざまな不安を抱えている。

②今回、策定する障害者福祉計画では、医療・福祉関係者が計画策定審議会において審議し、障害のある方たちが地域で自立した生活をする上で、必要なサービスを提供できるように、障害福祉サービスの推進と相談支援体

制の一層の充実強化を図ることを施策目標に掲げている。

③親亡き後の障害者が安心して自立した生活を送るには、相談支援と就労支援並びにケアホームなどが併設した多機能型事業所が必要である。

将来的に、地域に住む子どもから高齢者まで、要介護者も障害者も一緒になってともに暮らす環境づくりが重要と考えている。

まず、核となる市内の社会福祉法人に施設整備等の拡充を促し、多機能型支援センターに移行できるように支援していきたい。

### その他の質問事項

- ・緊急web通報システムの導入を
- ・遠隔地の市町村と災害時相互応援協定を
- ・地域の再生・活性化のために